

# 全力で楽しむ指導を

地域の施設を拠点に、多世代、多項目、多志向のスポーツを行う総合型地域スポーツクラブ。NPO法人新町スポーツクラブは地元のスポーツ少年団を核に、2000年に県内初の総合型地域スポーツクラブとして発足した。子どもの運動不足が指摘され、部活動のあり方が問い直される中、スポーツの本来の楽しさを伝えようとしている。

## NPO法人新町スポーツクラブ理事長 小出 利一氏



れをやりたい」と思えるスポーツを見つけてもらいたい。総合型地域スポーツクラブは多項目なので、選ぶことができる。クラブの子どもが、中学で文化部に入ってもかまわない。ただ、ここで学んだ体を動かす楽しさや、全力で取り組む楽しさを忘れないでほしい。

**\*新町スポーツクラブの核となった「新町スポーツ少年団」は1967年に発足。「新町SVCスポーツ少年団」として昨年50周年を迎えた。**

子どもたちが自分で動くこと。それは一貫して変わ

らない少年団の理念だ。日本人はスポーツをする楽しさを勘違いしている。勝ち負けだけではない。全力でやれば楽しい、ふざければ楽しくない。クラブは子どもたちがそれを学べる場所でありたい。

大人に言われてやるのではなく、自分たちがやりたいことをする。それが一番大事だ。子どもが自分で考えて行動するのは時間がかかるが、自発性を育てるために指導者は見守らなければいけない。でも、指導者は待つことが苦手。自分たちが選手の時、大人の指示を受けて、てきぱき動くことを求められてきたから。



子どもたちは個々に運動

能力が異なるが、スポーツ

を楽しむ権利はみんなが

持っている。子ども時代に

いろいろな体験をして、自

発的に「これが好きだ」「こ

